

## はじめに

本研究所は、茨城県における科学的かつ技術的中核として、公衆衛生の向上及び増進を図るため、保健所等との緊密な連携の下に、調査研究、試験検査、研修指導及び公衆衛生情報の収集・解析・提供を行っています。また、本研究所内に設置している「茨城県感染症情報センター」では、感染症の発生予防及びまん延防止のため、公衆衛生情報を迅速かつ分かりやすい情報として、関係機関及び県民等への提供に努めています。

さて、昨年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が各業務に大きな影響を及ぼし、未曾有の1年でした。特に、新型コロナウイルス検査については、2万1千件を超える検査に全所一丸となって年中無休で対応し、正確かつ迅速な検査結果の提供に努めました。また、刻一刻と変化する社会情勢に対応し、変異株の遺伝子検査や全ゲノム解析を並行して実施してまいりました。その他、関係機関からの相談に対して、検査技術の指導や最新の情報提供を行うなど、本県のCOVID-19対策に大きく寄与したと考えております。

COVID-19の影響で、昨年度は多くの計画検査や学会・研修会等が中止になりましたが、突発的な健康危機事案の発生に備え、検査体制を維持する必要があります。そのため、検査機器の整備に加えて、学会等へオンラインで積極的に参加させるなど、研究者の資質向上及び人材育成に取り組んだところです。

さらに昨年度は、新たな中期運営計画（R3～7）を策定し、本研究所が果たす役割と取り組むべき業務を明確にし、それらを着実かつ効率的に進めるための方策を示しました。本計画に基づき、引き続き感染症等による健康被害の未然・拡大防止に取り組んでいく所存です。

この度、茨城県衛生研究所年報59号を取りまとめましたので、関係者の皆様には、ご高覧いただきますとともに、今後なお一層ご指導、ご助言いただきますようお願い申し上げます。

令和3年12月

茨城県衛生研究所長 柳岡 利一